

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-12 観光施設整備事業 □支援部門						
主管課	観光商工課(観光課)	関連課					
分野名	観光						
目標 (目標値)	施設面での充実を図ることにより、観光客が安全で快適に観光できるようにする。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
事業の対象者数	18,110,868人	19,486,481人	18,833,713人				
運営資源状況	決算値(千円)	23,376	76,841	46,526			
	(国・県)	6,154	10,612	4,828			
	(負担金等)						
	(一般財源)	17,222	66,229	41,698			
	人員配置数	1.4人	1.45人	1.45人			
	人件費(千円)	12,775	13,987	14,160			
	協働のパートナー						
事務事業運営経費	総事業費(千円)	36,151	90,828	60,686			
	市民1人当りの経費(円)	204	513	344			
	対象者1人当りの経費(円)	2.0	4.7	3.2			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	横浜	藤沢	箱根	京都	鎌倉	
	観光客数	41,965,403	15,408,300	17,671,000	49,555,000	18,110,868	
	宿泊者数	4,820,450	392,431	4,280,639	13,100,000	300,410	
	宿泊率	11%	3%	24%	26%	2%	
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
公衆トイレの大規模改修済み箇所数	○	目標値	2ヶ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	1カ所	3カ所	1カ所		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
観光施設整備事業	23,376千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E	
	事業の概要	既存の観光案内板等の維持管理を行った。公衆トイレの改修工事や修繕を行い、快適で安全なトイレの提供に努めた。ハイキングコースの清掃及び安全確保を行った。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	公衆トイレの補完的な取り組みである協力店を充実させる方法の検討が必要である。トイレについては、順次計画的に建て替えを進めているが、洋式化を早急に進める必要がある。ハイキングコースの危険箇所について安全確保のための整備が必要である。
課題解決のための取組	鶴岡八幡宮休憩所内公衆トイレの改修を行った。後期実施計画でトイレの改修、ハイキングコースの安全対策整備工事の実施を位置づけた。
未解決の課題	協働型トイレ事業協力金の実績がないなど、ソフト的な対応による公衆トイレの充実が課題である。ハイキングコースは約20kmに及び落石や倒木の危険箇所の把握と整備を実施する必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性 ○		世界遺産登録実現による来訪客の増大を見据え、世界遺産の候補遺産となる場所のトイレについては早期に改修を実施して行く。ハイキングコースの落石や倒木の危険箇所の整備を適宜行い、ハイキングコースの安全対策を図る。	課長等名	
		③有効性 ○			↓	課長(代理) 齋藤和徳
		④公平性 ○			A	

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
観光施設整備事業	主な個別事業	390・392 公衆トイレ等維持修繕料	21,503	18,467	■適切 □見直し余地あり
		390 公衆トイレ等し尿清掃手数料	1,280	1,244	■適切 □見直し余地あり
		390 観光案内板作成委託料	300	294	■適切 □見直し余地あり
		392 名所掲示板作成委託料	820	591	■適切 □見直し余地あり
		390 ハイキングコース清掃・特別清掃委託料	1,211	1,187	■適切 □見直し余地あり
		392 仮設トイレ清掃委託料	303	0	■適切 □見直し余地あり
		390 由比ガ浜大通り公衆トイレ清掃等委託料	315	309	■適切 □見直し余地あり
		390 由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料	1,071	1,071	■適切 □見直し余地あり
		392 公衆トイレ解体工事費	1,800	0	■適切 □見直し余地あり
		390 ハイキングコースパトロール事業負担金	200	200	■適切 □見直し余地あり
		392 協働型トイレ事業協力金	480	0	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり